

地域とともに歩むコミュニティ・スクールの創造——地域の「人・もの・こと」とつながり学び合う子どもたちの姿をめざして——

山梨県昭和町

活動名

押原小学校運営協議会

関係する学校

押原小学校

活動区分		※ H26 年度の実績（補助の有無については H27 年度の状況）						
基本データ	土曜日の教育活動	コーディネーター	子供の笑顔参加人数	開始年度	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPOとの連携
	学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPOとの連携
	放課後子供教室	コーディネーター	子供の笑顔参加人数	年間開催日数	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPOとの連携
		実施場所					開始年度	放課後児童クラブとの連携
コミュニティ・スクール	指定日			委員数	児童生徒数	学級数		
	平成 26 年 5 月 1 日			15 人	289 人	14 学級		

活動の概要・経緯
 創立130年をこえる押原小学校は、旧村1校の地域住民に愛され、支えられてきている伝統と歴史ある学校である。地域とともに歩み、地域に根ざしたコミュニティ・スクールを目指し新たに歩み出した押原小学校は、確かな学力の向上、豊かな心の育成、健やかな体の育成とともに、押原小学校の教育課程のすべてをコミュニティ・スクールの視点・観点で見直し、地域に開かれた、信頼される学校として、ますます地域と連携・協力・協働した教育活動に努めている。押原小学校は、地域の中核的な存在として、ますます価値を高め、分離した町内の他校にもその成果を広めるべく活動を推進、展開している。

特徴

【特徴的な活動内容】

コミュニティ・スクールの第一歩として、町民や地域住民、保護者に押原小学校のことを、できるだけ知ってもらうことが大切であると考え、開かれた学校づくりを主眼に、積極的に学校の開放や発信する学校に努めている。地域住民や保護者には、「機会あるごとに、学校に「来て、見て、知って」の合い言葉を呼びかけている。「学校は敷居が高い」と思われがちである。我が子が卒業すると、全く関わりがなくなることも少なくない。学校がコミュニティ・スクールであると同時に、地域はスクール・コミュニティである。学校にとっても地域にとっても、互いにWIN・WIN、HAPPY・HAPPYの互恵的な関係を求めている。

【実施に当たっての工夫】

開かれた学校、発信する学校を目指し、授業参観、公開授業、学年行事、学校行事、児童会行事等の公開だけでなく、学校の情報を積極的に発信している。学校だより「コミュニティ・スクール通信おしほら」や各学年が発行する「CS通信」等のたよりも、保護者だけでなく、広く町民や地域住民に発信している。町広報誌や地域の回覧板等も活用している。また学校ホームページも日々更新している。コミュニティ・スクール導入促進事業として、学校見学会や保護者、地域住民のための給食試食会、地域の方々の作品を展示するスクールギャラリー、全校クリーン活動、落ち葉掃き集会など事業にも取り組んでいる。

事業を実施して

信頼される学校のためには、開かれた学校、発信する学校が必要不可欠である。地域に開かれ、地域とともに歩むコミュニティ・スクールとして歩み出した押原小学校への町民や地域住民、保護者の見方、考え方、関わり方も、確実によい方向へと変化してきている。コミュニティ・スクールの第一歩は、学校を知ってもらうことであると考え、学校に「来て、見て、知って」の姿勢が、町民や地域住民、保護者に安心感を与え、学校と地域の一体感が醸成され始めているようにも感じられる。「知ることは超（越）えることである」の言葉の通り、押原小学校をより知ることにより、押原小学校のコミュニティ・スクール推進の観点である「熟議・協働・参画・互恵」が1つずつ形づくられている。



押原小学校学校運営協議会組織



虫の放流活動